

取扱い後はよく全身を洗うこと。
 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出を避けること。
 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
 換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
 直ちに医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。

飲み込んだ場合 : 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
 直ちに医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。

皮膚に付着した場 : 汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
 多量の水／石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
 直ちに医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
 コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
 その後も洗浄を続けること。
 直ちに医師に連絡すること。
 特別な処置が必要である。

ばく露又はばく露
 の懸念がある場合：医師の診察／手当を受けること。
 漏出物を回収すること。

保管 : 施錠して保管すること。
 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 涼しいところに置くこと。

廃棄 : 内容物／容器を廃棄する場合には、該当法規に従い、都道府県知事に許可された廃棄物処理業者に委託し、適切に廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別：混合物

化学名又は一般名	含有率(%)	官報公示整理番号 (化審法)	CAS No.
アルミナセメント	約21.0	—	—
結晶質シリカ	約67.0	1-548	14808-60-7
その他成分	約12.0	非公開	非公開

4. 応急措置

- 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
- 皮膚に付着した場合：汚染された衣類を直ちに全て脱ぐこと。
多量の水／石鹼で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
- 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
その後も洗浄を続けること。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。
- 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。

ばく露又はばく露の

- 懸念がある場合：直ちに医師に連絡すること。
特別な処置が必要である。

漏出物を回収すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤：泡消火剤、粉末消火剤、二酸化炭素（CO₂）、乾燥砂など
使ってはならない消火剤：火災を拡大する可能性のある放水（棒状水など）

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項：漏出した場所の周辺にロープを張るなどして、関係者以外の立ち入りを禁止する。
- 保護具及び緊急時措置：作業の際には保護具を着用し、皮膚に付着したり粉塵を吸入しないようにする。
- 環境に対する注意事項：環境への影響を起こさないよう、河川などに排出しない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：ほうき等で集めるか、集塵機で吸い取る。
水を散布して固化させる。
濡れ布、濡れ紙でふき取る。
- 回収、中和などの浄化の方法及び機材：ほうき等で集めるか、集塵機で吸い取る。
水を散布して固化させる。
濡れ布、濡れ紙でふき取る。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策：「8.ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

安全取扱注意事項：眼、皮膚との接触を避けること。
 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
 環境への放出は避けること。
 取り扱い後はよく全身を洗うこと。

接触回避すべき化学物質：特になし。

保管

安全な保管条件：換気の良い場所で保管すること。
 涼しいところに置くこと。
 施錠して保管すること。
 雨露を避け、風通しの良い湿度の少ない屋内で保管すること。
 水濡れの危険のある床面では直置きを避け、パレットなど架台を用いる。

安全な容器包装材料：製品の移動は容器(樹脂袋)に入れたままの状態で行う。
 落下や他の器物に当てるなど容器を破らないように慎重に扱うこと。

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

保護具

呼吸器の保護具：防塵+防毒マスク
 密閉された場所では送気マスクなど

手の保護具：不浸透手袋

眼・顔面の保護具：肌を露出しないゴーグル型の保護眼鏡

皮膚及び身体の保護具：肌を露出しない保護服、保護長靴、保護前掛け等

9. 物理的及び化学的性質

物理状態：粉状固体

色：黒褐色

臭い：データなし

融点/凝固点：データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲：データなし

可燃性：なし

爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界：非該当

引火点：非該当

自然発火点：非該当

分解温度：データなし

pH：加水、加湿時の水相 >12

動粘性率：非該当

溶解度：水に不溶

n-オクタノール/水分配係数：非該当

蒸気圧：データなし

密度：データなし

相対ガス密度：データなし

粒子特性 : データなし

1 0. 安定性及び反応性

- 反応性 : セメント製品であるため空気中の水蒸気と緩やかに反応する。
- 化学的安定性 : 通常の温度、圧力の条件下では安定である。
- 危険有害反応可能性 : 特記すべき反応性なし。
- 避けるべき条件 : 5°C以下の低温、40°C以上の高温、高湿度
- 混触危険物質 : 水、湿気と緩やかに反応する。
- 有害な分解生成物 : 接触した水はアルカリ性を呈する。

1 1. 有害性情報

[製品・成分]

製品・成分名	急性毒性					皮膚腐食性 刺激性	眼損傷 刺激性	呼吸器 感作性
	経口	経皮	吸入					
			気体	蒸気	粉塵・ミスト			
製品	—	—	—	—	—	—	—	—
アルミネート	—	—	—	—	—	—	—	—
結晶質シリカ	—	—	—	—	—	—	—	—
その他成分	—	—	—	—	—	—	—	—

製品・成分名	皮膚 感作性	生殖細胞 変異原性	発がん性	生殖毒性	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん 有害性
製品	—	—	区分1A	—	—	区分1 (呼吸器、腎臓)	—
アルミネート	—	—	—	—	—	—	—
結晶質シリカ	—	—	区分1A	—	—	区分1 (呼吸器、腎臓)	—
その他成分	—	—	—	—	—	—	—

※ — : 区分に該当しない又は分類できない

1 2. 環境影響情報

[製品・成分]

製品・成分名	生態毒性		残留性 分解性	生態蓄積性	土壌中の移動性	オゾン層への 有害性
	短期 (急性)	長期 (慢性)				
製品	—	—	—	—	—	—
アルミネート	—	—	—	—	—	—
結晶質シリカ	—	—	—	—	—	—
その他成分	—	—	—	—	—	—

※ — : 区分に該当しない又は分類できない

1 3. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 廃棄する場合、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。
- 汚染容器及び包装 : 空の汚染容器・包装を廃棄する場合、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の収集運搬業者及び処分業者と契約し、廃棄物処理法及び関係法規・法令を遵守し、適正に処理する。

14. 輸送上の注意

国際規制 : 非危険物

国内規制

指針番号 : 非該当

その他の情報：運搬に関しては容器の漏れのないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

移送時にイエローカードの保持が必要である。食料や飼料と一緒に輸送してはならない。

15. 適用法令

化学物質把握管理促進法（PRTR 制度）

非該当

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険有害物

結晶質シリカ

名称等を表示すべき危険有害物

結晶質シリカ

がん原性物質

結晶質シリカ

じん肺法

第2条施行規則第2条別表粉じん作業

結晶質シリカ

毒物及び劇物取締法

非該当

消防法

非該当

16. その他の情報

- ・この SDS は JIS Z 7253 に準拠し作成しております。
- ・記載事項は作成時点で入手した最新情報をもとにしていますが、その正確性または完全性を保証するものではありません。全ての化学品には未知の有害性があり得るため、取扱いには細心の注意が必要です。
- ・記載事項は通常の実用を対象とするものですので、指定された用途・用法以外に使用しないでください。
- ・使用者においては、安全と健康及び環境保護を確実にを行うため、この SDS の情報に加え自ら収集された情報を合わせて、その適合性と完全性をご判断ください。
- ・この SDS は日本国内においてのみ適用するものとします。